

師匠と弟子の物語

木村若友

「浪曲と共に生きられ

本望です」



文・おさだ衛

浪曲が心底すきで生涯に渡り生活の糧としてきた木村若友。87歳の高齢だが、声つ節は浪曲界でも指折りの素晴らしい。東京は上中里のご自宅に師

を訪ね、健康的の秘訣をうかがつた。

若友には筆者が忘れられない舞台がある。昨年11月、木馬亭の定席で「出世の草鞋(わらじ)」という珍しい演題を掛けたのだが、マイクのスイッチを入れ忘れて肉声で30分、演じたのだ。高通の声が木馬亭いっぱいに響き渡り、人間の肉体は鍛錬次第でどんな声も出せる「楽器」だと実感した。

私は師匠の友衛御大からは腹の底から声を出せと言わっていましたから。御自身も甲走(かんばし)った胸声で一世を風靡しました。

御大も昭和15年くらいまでは大劇場でもマイクは使いませんでした。声が

で一世を風靡しました。

「芸だけでなく人柄も良かった。

「人間が大きかった。磊落(らいらく)な性格で度量が大きかった。怒らない方

でした。小言も「わかってるじゃないか」の一言で、逆に応えました」と御大がうなると場内は「待つてました」の嵐です。節も合いの子で落としたり関東節で落としたり自由自在で、名人でした。

「あまり自慢にもなりませんが、当時は5日に1回くらい師匠が女郎買いの会人で入門した若友を師匠はことのほか可愛がってくれた。

兄弟子連中に羨ましがられました

「われわれ中看板はお客様に受けないと、すぐに解散になり、また翌年の

割れてしましますから。お客さんも一節も聞き逃すまいと、こう真剣に身振りえていましたね」

師匠・友衛のことを語るとき、身振り

手振りで表情がいつそ輝いてくる。「日本はもとより満州、台湾、北支、南支と師匠の一座でまわりました。どこも満員で外題もお客様から『塩原

河内山』と十八番不夕の声がかかります。外題づけで一節を愁嘆で落とすと、そこでお客様から手がくる。『馬力をかけて時間くるまで勤めましょう、と御大がうなると場内は『待つてました』の嵐です。節も合いの子で落としたり関東節で落としたり自由自在で、

あの豪傑な節が懐かしいです」



きむらわかとも本名・大森政貴。明治44(1911)年、福島県安達郡うまれ。幼少からの浪曲ずき、天狗連で鳴らした。昭和12年28歳で上京、木村友衛の弟子となる。昭和15年、福島県郡山市で看板披露。戦後、師匠・友衛一座で全国をまわり、のち10年間、自身の一座で全国を巡業。上の写真は昭和13年当時の木村友衛の宣伝ビラ。出演者に若友の名前が見える。「師匠は、芸を盗んでオレを越えろと言っていたました」

興行も土地の興行師に買つてもらえない
くなりますが、まじめに勤めました。
た。恩師ゆづりの河内山はどこでもケ
ラレませんでした。やはり木村の節は
いいんです。威勢がよくて」
28歳で専門家になつて60年ちかく現
役生活を送つてゐる若友師を支えてき
たのは愛妻で合三味線もつとめた徳子
さんだつた（昭和62年没、71歳）。

「私の三味線を上手くも下手でも40
年、よくやつてくれました。貞女でした。
た。どこに行くのも一緒にオシリドリ夫

婦と呼ばれました」

この取材には若友師の一人娘の政子
さん（63）が立ち会つたが、現
「父のナマリが直らないのを母は無念
に思つていました。ナマリが無くなつ
たら二代目の友衛を継ぐ話もあつたよ
うです。母はナマリを矯正していいたの
で、母は「私と逆だったらよかつたの
に」とくやしがつっていました」

若友師はこの四月に自宅で転んで頭
を強打して入院したが、回復が早く医
者も驚く生命力だつたようだ。

「普段もよく歩いて運動してましたか

ら治りも早かつたと思ひます。それに

腹から声を出して身体を鍛えていた浪
曲の余徳なんでしょうね」

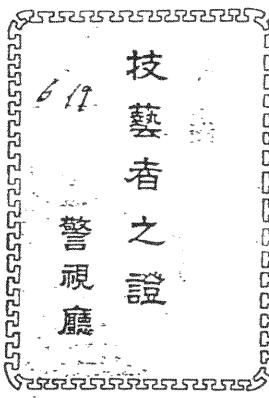
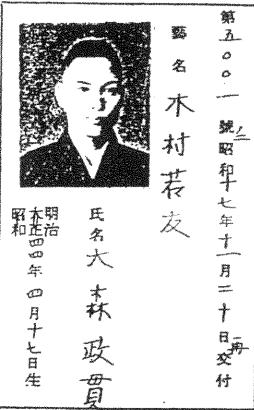
こちらの質問に懇切丁寧に答える若
友師は誠実のかたまりだ。誠実の国か
ら誠実を広めにきた聖人のようだ。

「私は借金はない。人とケンカしたこ
とはありません。間違いはおかしたこ
とは、ありません」

来年は米寿を迎える師だが

「まだまだ浪曲はやれます。声は出ま
す。浪曲が生きがいです」

「同い年の末広友成との記念の浪曲大
会が待ち望まれるところだ。」



これは珍しい昭和19年発行の技芸者之証。
この当時は2か月で一席はおぼえました。
好きこそもののかなれだつたんですね

徳子（とくこ）夫人。「そんなに浪曲に興
味があつたわけでもなかつたのに、私のた
めに三味線を覚えてよくやつてくれました。
稽古のとき、私は「そこ、またナマツ
たいるよ」とよく言われました」

「浪曲をやつてきて悔いはありません。
このままいつて本望です」。一芸を磨いてき
た職人だ。芸一筋の生き方は貴い。

浪曲…これほどすばらしい芸は他にはないと
思います。

41
52

浪曲家の皆さん…頑張って下さい。

多くのファンを楽しませて下さい。

葛飾区・坂本豊吉